



令和8年度 高山市立北稜中学校経営構想

《高山市の学校教育の方針と重点》

- 教育の方針：未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
- 教育の重点：自分らしく 1歩を踏み出し 乗り越え、挑戦する子

《北稜地区地域の願い》

- 人の心の痛みを知り、困難にくじけずに、立ち向かっていける子

《学校のミッション》

- 一人一人の居場所づくりと自立を促す支援体制の構築
- 地域と連携し、地域に貢献する教育活動の推進

学校教育目標「夢 連帯 感動」

めざす学校像

自分らしさが 発揮できる学校

＜自分らしさが発揮されている姿＞

自分のよさ(好きなこと・得意なこと・大事にしていること(価値観))を自覚し、自己実現(なりたい自分)に向けて努力したり、周りの人の幸せのために行動したりする姿

学びづくり〈夢・連帯〉

「動き出す」学習を積み重ねれば、「分かるぞ」「楽しいぞ」
○ 一人が大切にされる学びづくり(人権教育)を土台として

1 学びの深まりを実感できる授業づくり

- (1)生徒が「動き出す」姿の共有と評価(生徒・教員)
- (2)対話から議論へ、学びを深める教科学習(「根拠」・「比較」・「関連付ける」学びの充実)
- (3)学びを確かにするための終末の工夫
- (4)個に応じた支援の充実
 - ・T・Tとしての担任の授業参加(不定期)

2 目標を達成する自主学習

- 手帳による自主的なタイムマネジメントの習慣化
- ・時間の使い方の「見える化」と振り返り
- ・単元ごとに学びを確かめる取組(単元テストの実施)
- ・家庭学習における教科担任の見届け

3 探究的な「北稜 Passion Project」

- 探究サイクルを繰り返した総合的な学習の時間
- 全校：My Passion Project(個人課題の追究・表出)
- 1年：郷土を知る(自然・産業・歴史)
緑化少年団：「森と木と水」に関する探究
- 2年：郷土の人に学ぶ(キャリア)
- 3年：郷土を守り拓く(地域協働プロジェクト)

〈感動〉

感じる人の心
(人権)
感じる美しさ
(郷土等)

【校区で育てたい資質・能力】
対話を通して
自分の考えをつくり
動き出す力

生き方づくり〈夢・連帯〉

「自分の好きなところ、大切にしていることはこれだ」

○ 人としてどう生きるか～気持ち・考え・動き出す～
を考える生き方づくり(人権教育)を土台として

1 「動き出す力」を育てる特別活動、福祉活動

- (1)主体的・自治的な生徒会活動
 - ・「生徒の心得(校則)」の見直しに向けた取組
 - ・人権をテーマに考える日の設定
- (2)願いと見通しを大切に、生徒が自ら動き出す行事
- (3)多様な他者から学ぶ
 - ・地域(高齢者等)と年間を通してつながる福祉活動
 - ・R8 人権推進校(「人権の花運動」、障がい者ｽﾎｰﾙ教室等)

2 継続した「なりたい自分」づくり

- (1)「なりたい自分」と「自己努力」の宣言
- (2)仲間の生き方から学ぶ場の設定
- (3)自分らしさを表出する場の設定

3 個に寄り添い、向き合う教育相談(自己選択と自己決定)

- (1)一人一人の居場所づくり(アルプス教室含)
- (2)組織的な教育相談の充実

不登校・いじめの未然防止・初期対応の徹底

- ・いじめ防止基本方針の更新と共有
- ・全職員での生徒理解(毎週)・アンケート結果共有

家庭・地域との地域 ～社会に開かれた教育課程の実現と郷土教育の推進～

1 家庭との連携

- ・学校だより・各種広報・SNS(すぐる等)による情報発信(掲載目標：月1回以上)・学校公開

2 地域との連携

- (1)地域のゲストティーチャー
 - ・R7 例(茶処あ・そこ・ふるさと歴史館・ジオパーク・飛騨産業・森林組合・石原嘉和先生等)
- (2)保小中の連携
 - ・北稜校区保小中連携の会・保小中合同引き渡し訓練(年1回)・北稜地区校長会
- (3)学校運営協議会との連携
 - ・さわやか登山(R7 乗鞍岳)・各種検定(英語、数学、漢字)
- (4)地域の独居老人との年間を通じた交流・暑中見舞い、年賀状の交流・鉢花届の交流・カレンダー届の交流
- (5)たからまちづくり協議会等との連携
 - ・防災学習・福祉教育・講演会

教職員の構え

《指導力の向上》 専門性・責任(働きたい)

- ・職員も自ら動き出す(「自己目標確認面談」の定期的実施)
- ・教科専門性を高める教材研究(指導力向上訪問6回)
- ・職員の二足を踏まえた職員研修(研修主事を中心に)
- ・深い生徒理解と見届け・価値付け(毎週の生徒理解研等)
- ・素早い情報共有と対応(「その日対応」の心がけ)

《働き方の改善》 心身の健康(働きやすさ)

- ・担任らしさを発揮し、生徒に寄り添う複数担任制
- ・退校時刻18時設定と過ぎる場合の業務内容確認
- ・時間外45時間以内を目指し、月半ばに状況確認
- ・対話と共有を大切にする職員集団(毎週の企画委等)
- ・自分らしさを生かし、支え合う職員集団(メンター制)

対話し
自ら動き出す
職員集団

職員が自ら、自分らしさをみがく！

理想の職場を、自分たちでつくる職員集団！